

あけまして
おめでとうございませす



おばなざわ 市議会だより

第76号/平成25年1月15日

12月定例会

* 補正予算・議案の審議…2
* 行政調査報告…10

* 一般質問…6

* 可決された議案・請願の審査結果…9

* 広域組合議会の報告…11

* 私のひとこと…12

補正 予算

こんなことを審議しました



母袋街道開通120周年記念事業参加者

Q 元気な地域づくり交付金の今年度の交付件数と交付金額はどのくらいか。加藤市政の目玉商品としてもっと使い勝手のある制度に見直すべきではないか。

元気な地域づくり交付金

A 事業実施団体はこれまで5地区、65万円を交付しています。それぞれの地域に種をまくための事業であり、制度がより活用しやすくなるよう検討します。



NHKラジオ「福原公民館でナマラナイト」の収録

平成24年12月定例会は12月6日から12月13日までの8日間の会期で開催されました。6日に加藤市長から市政概況と平成24年度一般会計補正予算、特別会計補正予算3案件を含む9案件が上程され、常任委員会に付託されました。10日、11日の一般質問では、6名の議員が市政全般にわたり市当局の考えを質しました。最終日の13日には、本会議が開催され、当局から提案された全議案と議案2件は慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。

Q 生活保護の動向はどうか。
A 生活保護は11月末現在で45世帯58人となっています。

Q 福祉ガソリン券の交付状況はどうか。
A ガソリン券は75人に交付されました。

福祉政策

Q 福祉ガソリン券の交付状況はどうか。
A ガソリン券は75人に交付されました。

Q 道路新設改良事業3千5百万円の減額の理由はなにか。冬期間でも可能な限り予算を執行するよう努めるべきではないか。
A これまで完了した事業費の受け入れ額が確定したため減額をしました。本来はそうすべきですが、今年度は凍上災などで執行困難な状況です。

道路新設改良事業

Q 有害鳥獣被害防止対策として、追い出し花火を活用してきた。若干の自己負担があっても必要だとの声があるが、どう対応するのか。
A 追い出し花火については補助対象ではなく、補助対象ではなくなりました。追い払いには有効という声があり、来年度も予算を確保して対応したいと考えています。



サル・クマ対策に有効な電気柵

有害鳥獣被害軽減モデル補助金

Q 有害鳥獣被害軽減モデル事業補助金の現状はどうか。農林水産省で行っている補助事業を活用する考えはないか。
A 今年度に電気柵を設置したのは7件で総額27万2千円を補助しました。来年度設置するかアンケートを行った結果、20件以上の希望者がありました。モンキードックは難しいが、電気柵の補助を100%できるか検討します。



クマに食べられたスイカ

地区公民館耐震診断

Q 地区公民館耐震診断結果によると、尾花沢地区公民館は倒壊する危険が高く、補強困難と判定された。公民館職員と放課後児童クラブ利用者が安心できるように早急に移転先を確保すべきではないか。
A 12月7日、地区区長会で説明を行いました。放課後児童クラブについては、尾花沢小学校で対応できるように早急に協議を行っていきます。

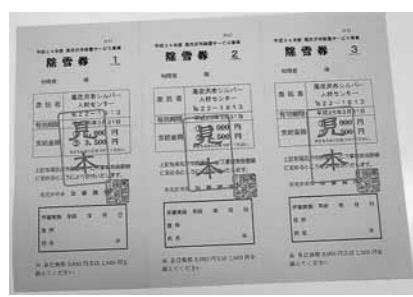
木造住宅耐震診断

Q 木造住宅耐震診断士派遣業務委託や耐震改修支援補助金の活用状況はどうか。
A 診断士派遣業務委託件数は1件、改修工事は3件でした。今後とも継続して『震災に強いまちづくり』を推進していきます。

雪対策総合交付金

Q 雪対策総合交付金を除雪ボランティアセンター活動補助金として支出するが、組織強化にどうつなげていくのか。
A 10月29日社会福祉協議会と尾花沢市民雪研究会とで立ち上げました。費用の内訳としては、スノーダンプなどの除雪道具の購入や人件費、事業費にあてられるものです。

Q 雪対策総合交付金を除雪ボランティアセンター活動補助金として支出するが、組織強化にどうつなげていくのか。
A 10月29日社会福祉協議会と尾花沢市民雪研究会とで立ち上げました。費用の内訳としては、スノーダンプなどの除雪道具の購入や人件費、事業費にあてられるものです。



3枚に増えた除雪券

地区及び集落の住民組織などが、元気力向上のために行う創造的な経費に対して交付される『尾花沢市元気な地域づくり交付金事業』が2年目を迎えました。今年度これまでに実施された6地区の事例を紹介します。

この事業は、地域景観保全事業(経費の3/4以内で20万円が上限)、地域づくり提案事業(経費または10万円のいずれか少ない額)、10万円以上は事業費の3/4以内で10万円が上限)、維持管理継続事業費または5万円のいずれか少ない額の3つの事業があります。さらに使い勝手をよくし、各地域で大いに活用が図られ、尾花沢のすすみまで元気がひるがるよう期待されます。

五十沢地区

「開宝清水」の維持管理継続事業



集落入口に整備された五十沢のすず

- ・開宝すずの周辺美化、舗装作業
- ・水質表示板の設置
- ・名称表示(石碑)

「県境となりまち」交流事業

玉野地区ふるさと振興会

- ・ニッ森登山参加(5/27)
- ・婦人研修(葉菜リゾート周辺)の実施(6/30)
- ・西小野田フライングシューズ大会への参加(7/21)
- ・西小野田西部地区夏祭りへの参加(8/5)
- ・母袋街道開通120周年記念事業の開催(10/21)

「ホタルを守る環境整備」事業

荻袋村づくり推進協議会

ホタルが発生する土地改良区域の排水路わきには、雑木・雑草が生い茂っており、水路には生活廃棄物などが投棄され汚泥が堆積している。ホタルをより多く生息させるため、雑木・雑草を処理し、水路の清掃を行って幼虫を保護する。

地域の活性化をめざす

元気な地域づくり交付金

矢越を愛する会

「矢越を見て食べて」事業

- ・地区内外の方で模造紙に写真を貼る形式の作品を作成して市民文化祭に参加
- ・写真DVDの作成
- ・美しい矢越の里の野菜を関東地方に販売に行き美味しさをPRする



宮沢地区公民館で開かれた「矢越を見て展」

南沢集落

「南沢ピンク色のまちづくり」事業



南沢カブまつりで新商品試作発表

- ・衛生ステーションなどピンク色を使い南沢のカラーを地区内外にPRする
- ・南沢カブ、桜にちなんだレシピの研究、活用、イベントの開催
- ・南沢カブまつりの開催

議会会目誌

10月

- 5日 北村山3市1町議会議員研修会
- 同日 同右議員交流ランドゴルフ大会
- 6日 まるだし尾花沢ふれあいまつり
- 10日 尾花沢市平和を願う集い
- 11日 森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会(なら枯れ予防現地視察)
- 12日 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合全員協議会
- 14日 第10回尾花沢市総合防災訓練
- 16日 国道347号改良促進に係る要望活動
- 20日 社会福祉法人徳良会評議員会
- 21日 第13回花笠カップ綱引き選手権尾花沢大会
- 22日 荻袋鮭のふるさと祭り
- 同日 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合定例会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 みやぎ尾花沢交流会
- 28日 尾花沢新そばまつり

11月

- 2日 岩沼市議会報編集特別委員会行政視察
- 3日 徳良湖元気村感謝祭
- 6日 第19回尾花沢市民文化祭開幕式
- 同日 市民厚生常任委員会管内調査
- 8日 山形県市議会議長会報研修会
- 13日 第11回「最上を拓く高規格道路建設促進合同大会」
- 14日 山形県市議会議長会定期総会
- 14日 議会だより編集委員会行政調査
- 14日 (山形県庄内町・秋田県美郷町) 全国過疎地域自立促進連盟総会
- 16日 議会運営委員会行政調査
- 19日 (新潟県胎内市・福島県会津若松市) 総務文教常任委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 同日 除雪車出動式
- 23日 食の祭典in尾花沢審査会
- 27日 市営路線バス(市野々線)安全祈願会
- 29日 会派代表者会・議会運営委員会
- 同日 会派会合・議員全員協議会

12月

- 1日 NPO法人放課後等デイサービスはながさ落成式・開所式
- 6日 12月定例会・議案の上程
- 7日 総務文教・市民厚生・産業建設・各常任委員会(請願等の審査)
- 10日 一般質問
- 11日 本会議・議案の審議・質疑・表決
- 15日 花笠高原スキー場オープン式
- 19日 長寿園改築竣工式
- 20日 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合臨時会
- 25日 北村山広域行政事務組合議会臨時会
- 同日 北村山公立病院組合議会定例会

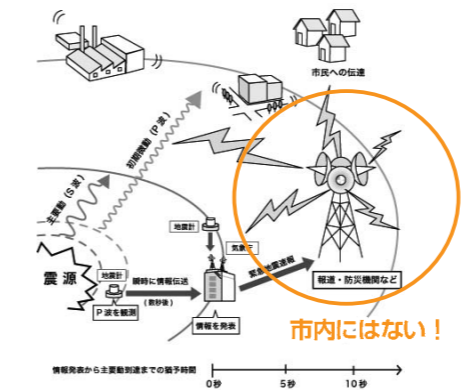
元気な尾花沢のまちづくり 進捗状況と具体策を問う



塩原未知子 議員

Q 今年、全国瞬時警報システム(J-ALERT)による緊急地震速報訓練や全国一斉自動放送など試験が実施されたが、受信した緊急情報を市民に伝達する手段は構築されているのか。

A 弾道ミサイルや大規模テロなどに関する警報を受信する「全国瞬時警報システム」は、現在、市消防本部に設置されています。しかし、直接伝達する「防災行政無線」(県整備率31%)が整備されていないため、情報は、広報車や緊急速報エリアメールなどで周知する体制づくりを進めています。今後、市民の皆さまに緊急時の連絡手段として防災行政無線の整備は不可欠ですので、今後、整備に向けて検討します。



Q 今後10年間の道標となる第6次尾花沢振興計画が策定され、元気な尾花沢を語る会などを通じて説明がなされているが「それぞれの元気」元

気な尾花沢」と叫ばれるだけで具体性に欠け、長期ビジョンが浸透していない。今後、どのようにして市民への周知を図るのか。また震災後の早急に見直しが必要と思われるがどうか。

A 周知については、市民向けダイジエスト版を作製し、全戸配布を行うとともに市のホームページで公表しています。計画に基づき毎年度の主要事業については、4月の市報でお知らせするとともに、元気な尾花沢を語る会などで随時説明しています。震災後の地域防災計画については、国、県の防災基本計画の改正にあわせ、見直し作業を進めています。市民の生命と財産を守り、安全で安心な市民生活を確保し、災害に強いまちづくりを推進していきます。

住宅リフォーム補助金とほかの補助金の相殺はすべきでない



青野 隆一 議員

Q 住宅リフォーム補助金要綱中「市が実施する他の制度による補助を過去に受けていない者」の一文で、本来目的の異なる合併浄化槽設置補助金やふるさと暮らし助



H26年度福原4校統合となる寺内小学校

A 住宅リフォーム緊急支援事業は、限りある予算の範囲で実施しています。当初は、これまで補助金を受けていない方に交付し、全体として公平性を図ろうとしたもので、指摘された件は、他の補助事業を含め、総合的な検証を進め改善の方向で検討していきます。

Q 福原地内の小学校統合の際、交通弱者の解消も合わせたスクールバスや路線バスなどの運行方法を検討す

べきではないか。放課後児童クラブや駐車場の確保などはどう取り組むのか。

A 先進自治体のデマンド型交通の事例を参考に、区長会などの意見を聞きながら、本市に適した効率的な地域交通システムを取り入れたいと考えています。また、放課後児童クラブについては、平成26年4月からの設置を検討しています。スクールバス運行計画の「児童の登下校に迷惑をかけない」を基本とし、購入台数を極力抑える方向で、市内に「バス相互利用検討委員会」を設置し調査、検討していきます。駐車場の確保については、旧寺内保育園跡地を活用し、駐車スペースを確保できるよう検討を進めます。

流雪溝の保全管理に もっと対策を講じるべき



星川 睦子 議員

Q 流雪溝の機能を充分保つため、ゴミや泥の清掃が不可欠である。流末の地域では、今年土のう袋138枚分のゴミと汚泥が収集された。

A ①屋内から発生する汚泥は肥料化されていますが、屋外で採取した汚泥は難しいと思います。②昨年度の水上がり復旧出動は30回以上でした。「流雪溝閉塞解除機」はCCDカメラや高圧蒸気噴出により閉塞を解除する機械です。開発した北海道ではまだ実用化されていませんが、委託業者が同様の機械を使用しているとのこと。このような例を参考に活

かししていきます。③流雪溝は、地区内の利用者が管理していくのが原則ですが、利用方法の徹底とともに、機械の利用や業務委託も考えていきます。

Q 登下校中の列に車が突入した事件を受けて実施された「通学路緊急合同点検」の結果はどうだったか。冬季の通学路の安全確保対策は。

A 警察署、県・市の担当者、市教委および学校職員が協力して実施しました。45か所を点検し、対策済13、予定4、未定28です。対策済は横断歩道の塗直しなど、未定は歩道除雪や信号機設置などです。冬季は、各校の危険か所の再確認や危険性を予測し自分を守る交通安全教育の推進など、家庭と地域や関係機関が連携し、努めています。

ドクターヘリ対策で拠点病院にヘリポート設置を要望する



小関 英子 議員

Q ドクターヘリ就航より約1か月、出勤実態とランデブーポイントでの対応と周知や拠点病院のヘリポート設置要望の考えはあるか。

A 11月15日より運航開始され、本市でも1名搬送されています。冬季の離着陸場として、消防署前と道の駅ねまるの2か所可能で、署員、警察官が安全確保にあたります。今後、公立病院にヘリポートの設置を要望していきたいと思

Q 市路線バスの利用拡大のために

A 上限を低減化する社会実験を実施してどうか。タクシー利用のデマンド化はどうか



ドクターヘリ

Q 特定不妊治療費助成事業が実施

A 本市では、これまで不育症に関する相談はありませんでしたが、今後の医療保険の適応状況や国・県の動向を注視し、不育症で悩んでいる方の検査・治療に係る助成制度について検討を要する課題ととらえています。

Q 救急医療情報キットの配布件数は何件か。配布後の反応はどうか。外出時の対応はどうするか

農業後継者対策の充実を図るべき



大類 準一 議員

Q 農業後継者の現状、また、後継者対策はどのように考えているか。農業実習生の受け入れ体制と現状はどうか。

A 新規就農状況は新規就農者3名、Uターン就農者8名、新規参入者4名の計15名です。国の新事業「人・農地プラン」を各地域ごとに作成し、担い手不足解消や農地集約に努めます。農業実習の6名は農業法人、先進的農家、農業大学校で実習しています。

介護支援の考えはどうか。

A 市内の介護施設は平成22年度までに整備が図られ、11月現在27名が入所しています。待機は、在宅で70名ほどです。今後は、介護施設サービスと併せ、デイサービスやショートステイなどの居宅介護サービスの活用を図り、可能な限り住み慣れた地域や家庭で日常生活が送れるよう支援していきます。

Q 老人世帯の除雪支援はどうか。

A 自助・共助・公助を基本に、除雪券1枚追加し3枚配布します。また、対象を市県民税均等割課税世帯まで拡充します。共助として、社会福祉協議会を中心に実施している福祉隣組制度の

充実をお願いしています。

Q 中央診療所の看護師の充足度はどうか。

A 現在12名の看護師とパート看護師により宿直を含んだ勤務にあたり、厳しい状況です。引き続き確保に向け努力していきます。

Q 企業誘致と用地対策はどうか。

A 企業誘致には人材の確保に加え、相談窓口の一本化が重要と考えています。本市でもワンストップサービスを実施していますので、更に関係課の連携を深め、誘致活動に活かしていきます。

Q 国道347号の通行規制を見据え、福原工業団地の分譲を進めます。

A 企業誘致には人材の確保に加え、相談窓口の一本化が重要と考えています。本市でもワンストップサービスを実施していますので、更に関係課の連携を深め、誘致活動に活かしていきます。

雪対策総合交付金事業



奥山 格 議員

町村が新規または拡充して取り組む雪対策事業を対象に、その2分の1以内の額が県から交付され、今年度の本市への交付額は3百万円です。本市では、一人暮らし老人等の除雪サービス事業を拡充するほか、除雪ボランティアセンター活動費補助金、スノーダンプ等除排雪用具購入、空き家対策事業、地域の協議会組織等が行う農作業道除雪に補助の計5事業を実施します。

Q 原発に代わる再生可能エネルギーの導入に国も力を入れ、本年7月より電力の固定価格買い取り制度が始まり、本市でも地域に合った再生可能エネルギーの導入を考えます。小水力発電については、まだまだ開発の余地があり、積極的に適地を探し、開発を推進して、徳良湖温泉以外に、公共施設

Q 本市の風の強い地点に風力発電の設置を検討して行く考えはないか。

A 本市では、有望地区として宝栄牧場において、大手民間企業が平成14年から18年にかけて風況調査を実施し、良好でしたが、資材の搬入や管理、送電等の課題について、現在調査中です。

Q 雪対策総合交付金事業は、補助金の交付対象になる事業をみると、本市としても大いに活用していくべきものと考えているかどうか。

A 雪対策総合交付金事業は、各市

◆ 請願の審査結果 ◆

採択された請願

平成24年請願13号

◎新町東町内会の子供たち並びに地域住民のコミュニティ広場の造成に関する請願

- 新町東区長 佐藤 好政
新町3区長 佐々木清次
若葉町区長 小林 秀也
荒 楯区長 笹原 光政



東光館のため池

継続審査される請願

平成24年請願第11号

◎ハリマ林道の市道編入に関する請願

翁山を愛する会

- 会長 大貫寛一郎
中刈区長 柴崎 良作

議会だより編集委員会

委員長 大類 好彦

庄内町と秋田県的美郷町に、議会だよりの編集について研修に行ってきました。読んでもらえました。議会だよりを作るには、写真1/3・文字1/3・空間1/3にする。良い編集をしているところを取り入れる。みなさんに、「読んでいただける議会だより」をつくっていきます。



美郷町 斬新な紙面

庄内町 迫力の表紙

行政調査

ほういこく

委員長 加藤 克彦

会津若松市 20年6月18日、会津若松市議会基本条例を賛成総員で原案可決した。市民福祉向上と市政発展への寄与が最終目的で条例はそのための手段である。市民総参加を基軸とした新たな政策形成サイクルの確立と実践によって、議会による積極的な政策形成を行い、まちづくり

に貢献していくという新たな目標に向けての出発の日になったという。以来市民と議会との意見交換会の中から、会津若松市議会議員一人ひとりが、議会改革のための制度づくりと実践に真摯に取り組んできたこと、にびっくりしたのである。尾花沢市議会でも議会基本条例制定に議会基本条例について協議を重ねてきた

可決された議案

12月定例会

- 承第10号 平成24年度尾花沢市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認
議第64号 平成24年度尾花沢市一般会計補正予算(第7号)
議第65号 平成24年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議第66号 平成24年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第1号)
議第67号 平成24年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第2号)
議第68号 尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定
議第69号 尾花沢市議会政務活動費の交付に関する条例の制定

議会案

- 議案第10号 尾花沢市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
議案第11号 尾花沢市議会会議規則の一部を改正する規則の制定

総務文教常任委員会



幕別町については、昭和60年に防災行政無線を整備し、その後システムの見直しを数回行った、現在公共施設と個別世帯に受信機を設置し、1日3回防犯、防災、生活情報、J Aからの情報等を放送している。尾花沢市で防災無線の導入は急務だが、財源を充分考え市街地より離れた地域を限定し整備すべきである。



鶴居村農畜産物加工体験施設のブランドチーズ

北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会の第3回定例会が、12月25日、東根市議場で開催されました。提出された議案は、北村山公立病院職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部改正や平成24年度組合事業会計補正予算など3議案です。平成24年度組合事業会計補正予算は、給食事務室への仮設通路や東2階ナースステーションのドアの拡張など耐震補強工事の126万円の増額や、職員の減などに伴う給与費8千740万円の減額などの補

北村山広域行政事務組合

12月25日村山市議会議場で臨時会が開催されました。平成24年度北村山広域行政事務組合一般会

市民厚生委員会

- ◎由仁町
1、ハーブのあるまちづくり
2、優良田園住宅
東京以北最大のハーブガーデンを整備し、ハーブを核とする生活文化の振興を目指していた。また菜園付き住宅として土地を低価格で販売していた。
◎旭川市 民間事業者省エネ等推進事業補助金
民間事業者への省エネ改修等推進事業、地域エネルギー導入事業について調査してきた。
◎赤平市 地中熱ヒートポンプ活用事例
地熱利用による冷暖房により胡蝶蘭を栽培している赤平オーキッドを視察してきた。地中ヒートポンプの間を不凍液が循環することで、冷暖房システムが稼働していた。
◎鹿追町
1、循環型農業
2、再生可能エネルギーとしての活用
鹿追町環境保全センターのバイオガスパラント、堆肥化プラントおよびコンポストプラントからなる地域資源循環型プラントを調査した。
◎芽室町 次世代エネルギーパーク
平成23年度次世代エネルギーパークの認定を受け、芽室町では新エネルギー・省エネルギーの取り組みをしていた。
◎「フラノ・マルシェ」で賑わいのある中心市街地に革命！
〈北海道富良野市民の取り組み〉
商工会議所会員を中心に公募に応じたり千3百万円を原資に「ふるらのまちづくり株式会社」を設立し、民間主導の地元物産販売施設「フラノ・マルシェ」で事業展開を始めたことが注目され、報道などによるコマースシャル効果もあり、観光客の増大や雇用の場も創出された。
自己資金を投資し、富良野市民の熱意とアイデアで中心市街地の活性化を図るという取り組み。
◎ベリーベリーファーム 上田
☆有有限会社自然農園
・事業内容 各種ベリー類の栽培加工販売、観光農園と飲食店の経営。
2千年、「休耕している広大な農地を果物畑に整える」を合言葉に始まったと上田英貴社長が語る。今や総面積30haに10数種類に及ぶフルーツが育つ日本でも最大級の農園になった。地元の人々の素朴なアイデアでシンプルさを大切に、加工製造して客を増やしている。

産業建設常任委員会



フラノ・マルシェ

「フラノ・マルシェ」で賑わいのある中心市街地に革命！
〈北海道富良野市民の取り組み〉
商工会議所会員を中心に公募に応じたり千3百万円を原資に「ふるらのまちづくり株式会社」を設立し、民間主導の地元物産販売施設「フラノ・マルシェ」で事業展開を始めたことが注目され、報道などによるコマースシャル効果もあり、観光客の増大や雇用の場も創出された。
自己資金を投資し、富良野市民の熱意とアイデアで中心市街地の活性化を図るという取り組み。
◎ベリーベリーファーム 上田
☆有有限会社自然農園
・事業内容 各種ベリー類の栽培加工販売、観光農園と飲食店の経営。
2千年、「休耕している広大な農地を果物畑に整える」を合言葉に始まったと上田英貴社長が語る。今や総面積30haに10数種類に及ぶフルーツが育つ日本でも最大級の農園になった。地元の人々の素朴なアイデアでシンプルさを大切に、加工製造して客を増やしている。

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会

平成24年12月20日組合議場で12月臨時会が開催されました。平成24年度一般会計補正予算(第1号)は需用費の増額など441万円を追加し8億91万円とし、し尿処理施設整備事業(し尿処理施設更新計画支援業務委託)は地方債補正となりました。公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)は、銀山維持管理費として178万を増額し6億2千296万円とし、



電子黒板とタブレット型コンピュータの実演(視聴覚センター)

それぞれ1億2千188万5千円としました。追加された事業費は視聴覚センターのトイレの改修費用です。繰越金と社会資本整備総合交付金をもってまかないます。
また、北村山広域行政事務組合事務局局長を「平成25年4月1日から常勤の特別職」とし、条例と規則の改正が行われ、それにもない職員などの報酬、旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部が改正されました。北村山視聴覚センターの所長と北村山広域行政事務組合教育委員会の総務課長を兼ねる任期は3年とし、



更新が急がれる し尿処理施設

広域組合議会の報告

私のひとこと



棟梁 山口 忠博 さん

◎今から25年前の棟梁と会う

24年7月末日、嶋雲山龍昌寺様より鐘楼堂改修の見積りなど、依頼される。

思えば平成23年3月11日の東北大地震で尾花沢も震度5強に襲われる。その影響か四方転びの鐘楼堂はバランスをくずし、また、23年と24年の2年続きの豪雪で耐えるのも限界かと危険と見なし、回向に回向を重ね相談をし、24年7月21日より通常土台柱組屋根へと造る工程ではあるが、屋根はそのまま柱だけの改修大仕事である。何年ごろ建立なったものか、本堂は天保時代に造られたものである

ゆえその当時かと思つて解体する。なんと斗組の中に享保12年と書かれてある。25年前の歴史ある鐘楼堂である柱の根元は腐れ、バランスをくずしてしまつた。ジャッキ12丁とサポート8丁で支え、約4t以上の屋根を支え、新しい禪材の柱で当時の技法(伝統工法)四方転び「楔鎌」「鯖の尾」の大貫を楔で絞める工法である。9月の半ばになつたであろうか

連後は頼む、職人は文化を運ぶ伝承者であり国の宝だと声を掛けられたような気がする。私も次の代の道しるべとして伝承された匠道文化の道を守つて行きたい。

青春時代夢を追い、いつか数多の人が手を合わせ願う建物寺社仏閣を造つて見たいと想つて勉強した技の粋難しく、難儀した規矩術の技法、脳味噌の奥深く鍛えしまい込んだものは決して忘れることなく、墨を付け刻むことができた。バランスをくずした嶋雲山龍昌寺鐘楼堂は改修された。改修期間住職さん

狂いなく、おさまつた時一安心した。思えば享保時代の棟梁達が25年もたせたんだから、平成の棟梁



龍昌寺の鐘楼堂

行政調査に来市された議会

11月2日 宮城県岩沼市議会
議会編集特別委員会 10名

はじめ多くの檀信徒の方にお世話になつたと、厚く御礼申し上げます。また、工事に対し応援してくれた各職の職人達に感謝申し上げます。

10月末日、龍昌寺檀信徒の皆様の益々の繁栄と趣旨丹請を祈誓し最後の大楔を絞め、私の任が円成したのである。百日間の改修工事を終えて感じたのは、屋根や凡鐘の重さはもちろんであるが檀家様の心の重さを組んだ鐘楼堂であつた。

あとがき

あけまして、おめでとうございます。昨年は半世紀ぶりの豪雪に、当市は、大変苦慮した1年でした。当地の基幹産業である稲作やスイカの作付けの遅れで、生育や価格の下落を懸念しましたが、その後の天候の回復により、例年以上の出来栄で喜んでいきます。市議会も12月定例会の全日程を終え、新年も当市の山積する問題に立ち向かいます。(武田佳久)



市のホームページからアクセスできます。

発行／山形県尾花沢市議会

編集／市議会だより編集委員会

◎委員長 ○副委員長

- 市議会だより編集委員
- ◎大類 好彦
 - 塩原未知子
 - 菅野 修一
 - 武田 佳久
 - 青野 隆一
 - 星川 睦子
 - 小関 英子